

2036年プロジェクト

～仙台の未来をひらく「まちへの投資」と「ひとの活躍」～

- 本市では、「ひと中心のまちづくり」を基本に、ひとが集い、交流を通じて創出される連鎖により、まちの魅力を高め、世界から選ばれる都市を目指しています。
- 日本全体が本格的な人口減少社会へと突入する中、本市においても近い将来、緩やかな減少局面を迎えることが見込まれており、今後10年は、未来を見据えた都市基盤と都市像を再構築するうえで、重要な期間と言えます。
- 10年後の2036年は藩祖伊達政宗公の没後400年にあたる年でもあります。政宗公は、仙台のまちびらきを行い、開拓精神や進取の気性、国際性を重んじ、人を生かす都市経営を推進しました。
- 本市は、こうした都市アイデンティティを踏まえながら、象徴性と実効性を兼ね備えた積極的な都市投資と、それを生かす施策を戦略的に実施するとともに、その推進力となる都市経営の取組を連動して進めることで、市民の皆様をはじめとする多様な人々の活躍を生み出すとともに、一人ひとりのウェルビーイングが実現される都市を目指します。

プロジェクトの全体像

【まちへの投資】

せんだい都心再構築2036、
音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設整備、
(仮称)西公園屋内遊び場整備、広瀬川(大橋周辺)水辺利活用、
市役所本庁舎建替、勾当台公園再整備、定禅寺通再整備、
仙台城大手門復元、リサーチコンプレックス形成推進 etc…



【ひとの活躍】

防災環境都市づくり、国際的な視点に立った教育の推進、
アートによる定禅寺通エリア魅力創出、
障害者アートプロジェクト推進、のびすく仙台の移転拡充、
(仮称)仙台シティフロントセンター設置、大河ドラマ誘致 etc

【プロジェクトの推進力となる都市経営の取組】

～2028年度
定禅寺通再整備

～2029年度
西公園
屋内遊び場整備

～2030年度
勾当台公園再整備

～2031年度
音楽ホール・中心部
震災メモリアル拠点
複合施設整備

～2036年度
(政宗公没後400年)
仙台城大手門復元

